

組合員のみなさまへ東北地方太平洋沖大地震被災地への

救援物資提供のお願い



グリーンコープは救援物資を届けました。

3月14日(15日米沢市到着)

3月15日(16日飯能市到着)

3月16日(18日飯能市到着)

3月18日(19日米沢市到着)

3月21日(22日米沢・飯能市到着予定)

グリーンコープは、青森、岩手、山形、福島など
兵庫県以東の都道府県の32生協で構成する生活ク
ラブ生協連合会（東京）と連携し、物流センター
（埼玉県飯能市）、生活クラブやまがた生協（米沢
市）に救援物資をお届けし、そこから被災地へ救援
物資を届ける救援活動を行なっています。

このたび、グリーンコープの輸送業務のお取引先
である㈱ランテックのご協力によって、グリーンコ
ープから仙台市に、毎日、救援物資をお届けするこ
とができるようになりました。仙台市に届けた救援
物資はホームレス支援全国ネットワークとの共同プ
ロジェクトとして、また生活協同組合あいコープみ
やぎを通して仙台市や周辺の被災地に、直接、救援
物資をお届けします。

グリーンコープとして三つの救援物資輸送ルートを確認し、被災地に、直接、
救援物資をお届けすることが出来るようになったことから、組合員のみなさんに
救援物資の提供をお願いすることにしました。

組合員のみなさんのご協力をお願いします。

ご提供をお願いする救援物資

グリーンコープがお取引先に協力いただいて手配出来ている救援物資以外で、以下の
ものをご提供ください。グリーンコープが手配して届けている救援物資は裏面を参照く
ださい。救援物資は、整理と輸送を迅速に行うために、以下の範囲とさせていただきます
。ご理解をお願いいたします。

1. 新品、または、使用済みでも構わない救援物資
**毛布、布団やこたつ布団、タオル、防寒着、懐中電灯、
ラジオ（乾電池付）、カセットコンロ**
2. 新品の救援物資
**肌着、紙おむつ、靴下、軍手、使い捨てカイロ、
乾電池、カセットコンロ用ガスボンベ**

ご提供方法と受付期間

- ・配達中に配達担当者にお渡しください。
- ・お近くのグリーンコープの配送センターにお届けください。（お近くの配送センター
の所在地は裏面を参照ください。）
- ・毛布や布団、下着類等、汚れないほうがよいものは梱包して、それ以外のものはその
ままでお渡しください。
- ・受付期間は、3月21日（月）～4月1日（金）までとさせていただきます。

**グリーンコープのお取引先にご協力いただいております救援物資
62社から約93万点の物資を確保しています(2011年3月18日現在)。**

《水・飲料・食料品》飲料水・お茶・飲料・赤ちゃん用ミルク・みそ汁・スープ類・米・野菜・インスタントコーヒー・レトルトカレー・漬物・海苔・乾麺・昆布・煮干・その他乾物・油・調味料・冷凍食品・お菓子

《衣類等》防寒衣料・靴下・ストール・はんてん・ひざ掛け・マフラー・下着類・腹巻・タイツ類

《寝具》布団・毛布・シーツ・枕・タオル・タオルケット・寝袋・マットレス

《雑貨等》オムツ・ティッシュ類・トイレットペーパー・マスク・食器(茶碗、皿等)・割り箸・歯ブラシ・生理用品・石けん・軍手・使い捨てカイロ・足入れカバー・湯たんぽ・薬用消毒ハンドジェル・フロアマット

《救援物資持ち込み先》※救援物資の持ち込みは月曜～金曜でお願い致します。

ひろしま西支部 廿日市市木材港南 7-55 TEL:0829-34-3704

ひろしま中央支部 広島市安佐南区緑井 1-28-47 TEL:082-831-1500

東広島支部 東広島市黒瀬町檜原 518-1 TEL:0823-81-0303

福山支部 福山市南蔵王町 4-2-15 TEL:084-991-4988

【若宮物流センター】 福岡県宮若市水原1102-17 【福岡物流センター】 福岡県糟屋郡粕屋町内橋730-1

【熊本物流センター】 熊本市弓削町415

【広島物流センター】 広島県東広島市高屋台1丁目 116-51

現地先遣隊レポート

～救援物資第一便に同行した現地先遣隊のレポートです～



米沢市役所では市長をはじめたくさんの方々に歓迎され、みんなで荷おろしをしました。

■ 燃料と食料の調達はとても厳しい様子でした。コンビニ等も閉店している店が目立ちます。ガソリンスタンドは全く開いていません。「閉店」「品切れ」「納期未定」等の手製の看板が掲げられています。開いているガソリンスタンドでは4km程行列が出来ていました。行列の終点であるガソリンスタンドが見えないくらいの長い列です。5時間待っても買えるガソリンには10リットルの制限があるそうです。それでもみんな諦めずに並んでいました。(グリーンコープ共同体 白木)

■ 米沢市役所では市長や市議員及びマスコミも多数待ち受けていました。米沢市役所は福島県から

の避難所にもなっており、荷物の引渡し作業中にも、続々と避難手続きや避難物資の受け取りにやってくる状況でした。米沢市役所の方には「本当にありがたい」とおっしゃっていただきました。また、こちらは予想以上に寒く、毛布が必要とのこと。また、「毛布は暖をとるのに必要なだけでなく、遺体をくるむためにももっと必要」とのことです。想像以上に状況は厳しいのがショックでした。(社会福祉法人グリーンコープ 家原)

■ 九州からの往路は特に混雑する事もなく、東北自動車道もスムーズに通行許可が下り順調でした。しかし、東北自動車道の福島県に入ったころから道路のいたるところがひび割れ、湾曲しており、現在も相当個所で道路補修工事をしています。道路そばの家もブルーのシートが掛けられている屋根が目立ちました。震源から相当離れている所でも、これですから今回の地震がいかに大きかったか想像できました。(グリーンコープ連合調査部 末次)



左から生活クラブやまがた高橋専務、先遣隊の末次さん、白木さん、家原さん、生活クラブやまがた三身副理事長 力を合わせた救援活動を誓って